株式会社翠光トップライン

Presents

メールマガジン#25

ロシアのウクライナ侵攻による戦争が多くの犠牲者を出して、心を痛めております。一刻も早く平和が戻ってくることを祈るしか出来ません。オミクロン株による第 6 波がピークアウトを迎えたみたいですが、予断を許しません。一方で梅が咲き、そろそろ春が近づいておりますね。災害支援財団の主催する BPS 無償キャンペーンに大きな反響がありますが、いよいよ今月末日までですのでご関心のある方はお早めにどうぞ。

BPS 無償キャンペーンはあと 2 週間です！

一般財団法人災害支援財団 HP→ https://dsf-j.org/
一般社団訪印エコファーム推進機構 HP→ http://ecofa.or.jp/

前回、次回は再エネ賦課金 「年々負担が増加する」もう一つの原因賦課金をテーマにするとしましたので高騰する電気代の仕組みの連載の最後に、今回は④再エネ賦課金についてご説明いたします。

前回、電気代の値上げの大元は「燃料調整費」であるとお伝えしました。再エネ賦課金も月に支払う電気代として負担するものです。こちらはいわゆる「値上げ」とは性質が異なります。電力会社は一旦お預かりして国に納めます。

●「再生可能エネルギー発電促進賦課金（以下、再エネ賦課金）」とは？
太陽光発電や水力発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電といった再エネによって発電された電気を電力会社が買取り、買取に要する費用は電気を利用するすべての国民が負担する制度です。

●目的は？
再生可能エネルギーの普及促進です。「再エネ賦課金の固定価格買取制度」＝太陽光発電の余った電力を国が買い取る制度＝この制度をＦＩＴといいます。
ＦＩＴは地球温暖化対策として再生可能エネルギー導入を促進するための政策で太陽光発電最初の買取価格は一般家庭が 48 円/kwh・産業用は 24 円/kwh でした。
（2009 年開始：一般家庭が 10 年、産業用事業者 20 年　買取価格は年々減少）

●年々負担が増加する再エネ賦課金
驚きなのがわずか８年間で 1kwh あたりの単価が 14.5 倍に高騰したことです。
国は目標が達成されたら廃止すると言っていますがまだまだ単価は上がり続く模様です。
首都高速道路も確か無料になると言っていましたが・・・・国が徴収制度をそう簡単に手放すとは思えませんね！

●再エネ賦課金　単価推移　2013 年以降は 5 月～新年度単価
再エネ賦課金　推移　　負担金額　例：月 500kwh 電気を使用した場合

2012 年・・・0.22 円/kwh・・・110 円/月
2013 年・・・0.35 円/kwh・・・175 円/月
2014 年・・・0.75 円/kwh・・・375 円/月
2015 年・・・1.58 円/kwh・・・790 円/月
2016 年・・・2.25 円/kwh・・ 1125 円/月
2017 年・・・2.64 円/kwh・・ 1320 円/月
2018 年・・・2.90 円/kwh・・ 1450 円/月
2019 年・・・2.95 円/kwh・・ 1475 円/月
2020 年・・・2.98 円/kwh・・ 1490 円/月
2021 年・・・3.36 円/kwh・・ 1680 円/月

今年度（2021 年 5 月～2022 年 4 月）
2021 年・・・3.36 円/kwh・・ 1680 円/月・・・・10 年前 110 円だったものが今年度は 1680 円（月 500kwh の場合）、なんと 15.2 倍です。
そして来年度（2022 年 5 月）は、太陽光発電の普及に伴い、さらに単価が上がる見込みです。

●電気は自家消費時代へ
家の屋根に設置して余った電気を売る（売電）期間は 10 年で終了します。2009 年の方たちが昨年、ＦＩＴ期間満了となり卒ＦＩＴ組と呼ばれました。
卒ＦＩＴ組の需要家は 1kwh あたり 48 円で売れた電気が期間満了で買取価格が 10 円前後に激減してしまいます。通常の電気の単価は 25 円～35 円です。10 円では元が取れません。
そこで有効なのが余剰電気を貯めて「蓄電池を利用した自家消費の電気」です。
市場価格に左右されずに電気を使用できるメリットがあります。

●まとめ
これで電気料金の内訳　①基本料金＋②　従量料金＋③燃料調整費＋④再エネ賦課金＝1 ヵ月の電気料金がお分かりになったと思います。

●再エネ賦課金の豆知識：
再エネ賦課金は 2011 年 8 月に参議院で成立し、2012 年 7 月から導入されましたが、法案が提出されたのは、東日本大震災の前でした。しかも民主党政権時です。置き土産とも揶揄されました。

震災後、電気不足で輪番停電、計画停電で地区割をして強制的に停電を余儀なくされたことは記憶に新しいです。プロ野球もしばらくナイターを自粛したり・・・当時は節電の流れが本当に凄かったです。

この連載を書いていただいたスイコウ電力の方からのコメントです。
6 回の連載お付き合いくださいましてありがとうございました。エネルギー事情は昨年から LNG ガスの高騰に加えコロナから日常への転換期による慢性的なエネルギー不足で電気、ガスの値上げが止まりません。そしてロシアのウクライナ侵攻によるロシアへの制裁・・・・世界各地でロシアのエネルギー依存から他国へのシフトチェンジで取り合いとなり、更に高騰傾向にあります。
ニュースでイタリアでは一般家庭の電気代が 6～7 万（数倍）に高騰したと報じていました。皆様も省エネに対する意識をさらに上げて、少しでも負担を軽減するご協力をお願いいたします。

こんなニュース見つけました！

2022/03/14 TEAM 防災ジャパン
【防災施策】「事業所防災リーダー」が創設されました -東京都
詳細はこちら→
https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e9%98%b2%e7%81%bd%e6%96%bd%e7%ad%96%e3%80%91%e3%80%8c%e4%ba%8b%e6%a5%ad%e6%89%80%e9%98%b2%e7%81%bd%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%83%80%e3%83%bc%e3%80%8d%e3%81%8c%e5%89%b5%e8%a8%ad%e3%81%95%e3%82%8c/

2022/03/15 TEAM 防災ジャパン
【普及啓発】令和 3 年度南海トラフ地震に関する静岡県民意識調査結果(速報値)が公表されました -静岡県
詳細はこちら→
https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e6%99%ae%e5%8f%8a%e5%95%93%e7%99%ba%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c3%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e5%8d%97%e6%b5%b7%e3%83%88%e3%83%a9%e3%83%95%e5%9c%b0%e9%9c%87%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99%e3%82%8b%e9%9d%99/

2022/02/26　朝日差し新聞デジタル
７社が値上げ　４月電気料金
詳細はこちら→ https://www.asahi.com/articles/DA3S15216088.html

BPS 設置事例のご紹介

今回は、銀座の商業施設に設置した防災非常用電源 BPS をご紹介します。

皆様も、銀座にお出かけの際にはご覧くださいますように。

メールマガジン発行元：
〒113-0034　東京都文京区湯島 3-11-10 トップライン BLD
株式会社翠光トップライン
Tel:03-5688-3177 Fax:03-5688-3277
URL:http://www.suikohtl.com/
E mail: bps@suikohtl.com

株式会社 翠光トップライン